

CASBEE 広島における重点項目の環境配慮設計概要

ポルスター宇品アクアテラ

CASBEE-広島 (2010年ver.1)

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配 慮 項 目	評価点	重み係数	内 訳			
■ 1. 「地球温暖化対策」の推進						
1.1 建物の熱負荷抑制						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.13	Q1	室内環境	2	温熱環境
品確法の等級4の省エネ基準、窓部は複層ガラスとカーテンを標準設置。	3.0	0.21	LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制
	5.0	0.65				
小計	4.3	0.30				
1.2 自然エネルギーの利用						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用
屋上に太陽熱温水器を設置し、共同浴場の給湯に利用。	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用
小計	3.0	0.10				
1.3 設備システムの高効率化						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	5.0	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化
燃焼系潜熱回収瞬間式給湯器の採用						
小計	5.0	0.20				
1.4 設備システムの効率的運用						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.03	LR1	エネルギー	4	効率的運用
	3.0	0.03	LR1	エネルギー	4	効率的運用
小計	0.0	0.00				
1.5 資源・マテリアル対策						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	4.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
節水型便器や節湯水栓の採用。造作材に集成材を使用。	3.0	0.12	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
	3.0	0.03	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
	3.0	0.06	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	2.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
小計	3.0	0.29				
1.6 ライフサイクルCO2排出率						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	5.0	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮
小計	5.0	0.12				
1. 「地球温暖化対策」の推進の評価						
	4.0	0.70				
■ 2. 「ヒートアイランド対策」の推進						
2.1 温熱環境の向上						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	2.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出
広島市緑化推進制度の緑化率の3.5倍の緑化面積を確保。	3.0	0.24	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮
	3.0	0.27	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮
小計	2.5	0.96				
2.2 交通負荷抑制						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	5.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮
住戸数の100%以上の駐車附置率に加え、カーシェアリングとレンタサイクルの採用により交通負荷を抑制。						
小計	5.0	0.04				
2. 「ヒートアイランド対策」の推進の評価						
	2.6	0.16				
■ 3. 「長寿命化対策」の推進						
3.1 耐用性の向上						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.47	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.12	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	5.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	5.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
コンクリートの水セメント比を50%に抑え、品確法の劣化対策等級3の性能を確保。	2.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.03	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	5.0	0.06	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
小計	3.5	0.47				
3.2 設備の更新性						
(コメント) ※設計の計画段階に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
節水型機器の使用、事故に備えた給排水配管の系統区分けを実施。豪雨や高潮による浸水の被害に備えて、地下施設を避け、電気設備の設置場所をマウンドアップ。	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
小計	3.0	0.53				
3. 「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)						
	3.2	0.14				
■ 重点項目の総平均(上記3項目)						
	3.7					